

## 図書室から見えた、見えない力

放課後の図書室での出来事です。あみさんが資料を探していると、入口近くで本を落とした一年生の姿が目に入りました。すると、近くにいた上級生がすつと近づき、何も言われる前に本を拾い、「大丈夫？」と声をかけました。さらに、散らばったしおりまで丁寧に集め、元の棚まで一緒に戻していたのです。

その様子は自然で、見せようとする態度はありませんでした。「気づいたら動く」という姿勢が、すでに身についているようでした。

あみさんは思いました。こうした行動は偶然ではない。日頃から周囲を思いやる言葉が交わされているからこそ育つのだろう、と。

そして、自分の職場を振り返りました。「スタッフの振る舞いは組織の鏡」。部下の対応や言葉遣いには、指導する側の価値観が映ります。子どもの姿から家庭が想像できるように、現場の様子からリーダーの在り方が見えるのです。自分は、どんな空気を育てているだろうか。

今日の言霊 姿は心のあらわれ

この物語が伝えているのは、思いやりは偶然に生まれるものではないということです。

本を拾い、声をかけ、最後まで整える。その一つ一つの行動には、「相手を大切にする姿勢」がにじんでいます。しかもそれは、誰かに評価されるためではなく、自然に体が動いた結果でした。そこに本当の価値があります。

人の振る舞いは、その人が日頃どんな言葉を聞き、どんな姿勢を学んできたかを映し出します。子どもの態度から家庭の雰囲気が想像できるように、部下や生徒の様子から、指導する立場の考え方や関わり方が見えてきます。組織や集団の質は、リーダーの背中の映し鏡なのです。

だからこそ問われるのは、「自分はどんな空気をつくっているか」ということです。注意の言葉だけでなく、日々の接し方や小さな配慮が、人を育てます。周囲の姿は、私たち自身の在り方を教えてくれる大切なサインなのです。

【今回の学び】⇒周囲の姿は、自分の在り方の反映！



# 図書室から見えた、見えない力

放課後の図書室での出来事です。あみさんが資料を探していると、入口近くで本を落とした一年生の姿が目に入りました。すると、近くにいた上級生がすつと近づき、何も言われる前に本を拾い、「大丈夫？」と声をかけました。さらに、散らばったしおりまで丁寧に集め、元の棚まで一緒に戻していただきました。

その様子は自然で、見せようとする態度はありませんでした。「気づいたら動く」という姿勢が、すでに身についているようでした。

あみさんは思いました。こうした行動は偶然ではない。日頃から周囲を思いやる言葉が交わされているからこそ育つのだろうと。

そして、自分の職場を振り返りました。「スタッフの振る舞いは組織の鏡」。部下の対応や言葉遣いには、指導する側の価値観が映ります。子どもの姿から家庭が想像できるように、現場の様子からリーダーの在り方が見えるのです。自分は、どんな空気を育てているだろうか。

## 今日の言霊 姿は心のあらわれ

★問一（漢字・語句） 文中の「振る舞い」の意味として、最も適切なものを選びなさい。

ア 体を大きく動かすこと  
イ その場にふさわしい行動や態度  
ウ 人前で目立つ行動をすること  
エ 感情のままに行動すること

★問二（選択） 上級生の行動の特徴として、本文の内容に最も合うものはどれか。

ア 周囲に見せるための行動であつた  
イ 先生に指示されて動いた  
ウ 自然に気づき、自分から行動した  
エ 一年生に注意を与えた

★問三（選択） あみさんが「偶然ではない」と考えた理由として最も適切なものはどれか。

ア その上級生が特別に優秀だったから  
イ 学校の規則で決められているから  
ウ 日頃から思いやりのある言葉や空気があるから  
エ 周囲に人が多かつたから

★問四（選択） 「スタッフの振る舞いは組織の鏡」とはどういう意味か。最も適切なものを選びなさい。

ア 組織は見た目が大切だということ  
イ 部下の態度に、指導する側の考え方が表れるということ  
ウ スタッフは必ず同じ行動をするということ  
エ 組織は人数が多いほどよいということ

★問五（記述） 本文を踏まえて、筆者が「どんな空気を育てているだろうか」と問いかけた理由を書きなさい。（100字程度）

模範解答・解説

★問一 模範解答 イ

○解説 ④「振る舞い」は、その人の行動や態度のことを指す。本文では、部下やスタッフの対応や言葉遣いと並べて使われており、その場に基づいた行動という意味である。

★問二 模範解答 ウ

○解説 ④上級生は「何も言われる前に」本を拾い、声をかけている。見せようとする態度もなかったとあるため、自ら気づいて自然に行動した点が重要である。

★問三 模範解答 ウ

○解説 ④筆者は、その行動は偶然ではなく、日頃から周囲を思いやる言葉が交わされている環境の中で育ったものだと考えている。その因果関係を読み取る。

★問四 模範解答 イ

○解説④ 本文では、部下の対応や言葉遣いに指導する側の価値観が映ると述べられている。つまり、組織の様子はリーダーの在り方を表すという意味である。

★問五 模範解答(例)

**自分の態度や言葉が職場の雰囲気をつくり、部下の行動に影響すると気づいたから。**

○解説本文は、上級生の行動から環境の力を考え、自分の職場を振り返る流れになっている。リーダーの在り方が空気をつくるという視点をまとめることが大切である。

この物語が伝えているのは、思いやりは偶然に生まれるものではないということです。

本を拾い、声をかけ、最後まで整える。その一つ一つの行動には、「相手を大切にする姿勢」がにじんでいます。しかもそれは、誰かに評価されるためではなく、自然に体が動いた結果でした。そこに本当の価値があります。

人の振る舞いは、その人が日頃どんな言葉を聞き、どんな姿勢を学んできたかを映し出します。子どもの態度から家庭の雰囲気が想像できるように、部下や生徒の様子から、指導する立場の考え方や関わり方が見えてきます。組織や集団の質は、リーダーの背中の映し鏡なのです。

だからこそ問われるのは、「自分はどんな空気をつくらしているか」ということです。注意の言葉だけでなく、日々の接し方や小さな配慮が、人を育てます。周囲の姿は、私たち自身の在り方を教えてくれる大切なサインなのです。

**【今回の学び】④周囲の姿は、自分の在り方の反映！**

